

地域産業支援委員会H28年度第2回例会議事録

2016.9.12 発行 地域産業支援委員会 委員長 末松正典

1. 日時 : 2016/9/3 (土) 10:00~12:15

2. 場所 : 九州本部 会議室

3. 出欠 (敬称略) : 赤石、味澤、大里、小出、古賀、末松、田口、西尾
【出席者、欠席者】 久富、松永、松原、森川、八百屋 山田、吉田
 [オブザーバー出席：長野副本部長]
 (欠席委員2名(森川、吉田)からは決議一任を頂いています)

4. 議題

- 1) H28年度第2四半期の活動報告 :
- 2) 産総研主催九州・沖縄産業技術オープンデー出展
 - ・当日展示、技術相談対応可能者の募集
 - ・技術士だより九州への搭載執筆者の決定
- 3) 次回の技術指導例紹介の発表者の選定
- 4) その他

5. 配布資料類

- 資料①-1 : H28年度活動経過
 資料①-2 : ”技術だより九州” 搭載記事紹介「技術の相談コーナーについて」
 資料②-1 : 支援アドバイザーリスト更新申請 (19名⇒20名⇒21名)
 資料②-2 : 第2グループ活動中間報告 (H28年8月末) [当日配布]
 資料②-3 : 対応・支援例の紹介 (技術士会員の技術など支援実施事例集)
 資料③-1 : 知財総合支援窓口第1回関係機関連携会議参加報告
 資料③-2 : 知財総合支援窓口関係機関連携会議参加報告
 資料④-1 : 産総研主催九州・沖縄産業技術オープンデー出展企画提案
 資料⑤-1 : 機械部会 web 中継聴講報告
 ★参考配布資料 (大里委員から以下の2つの資料)
 ・経営革新計画の説明資料 (福岡県による)
 ・福岡よかここビジネスプランコンテスト

6. 議題に対する結果 (決定事項など) :

6. 1 各グループのH28年度2四半期の活動報告 :

1) 第1グループ 【文責：末松】

- (1) 資料①-1 : 5グループ全体の活動のまとめについては、特に異論なし。
- (2) 資料①-2 : 2016.10.15号”技術だより・九州”への搭載記事原稿を紹介。特に指摘無し。

2) 第2グループ 【文責：味澤】

- (1) 「資料②-2」に則り順次報告 :
 - ① 「1~4」については特に意見なし。
 - ② 「5」(「技術士会員の支援実施例集」を配布：「資料②-3」とする) について :
 - i) 「資料②-3」をHPにリンクさせて追加する事に大筋合意。但し追加事例の見直しは必要。

- ii) HPへのアクセス数が把握されていないのであれば、カウンター等で把握する必要がある。
- (*)：本件に関し9月4日付で長野副本部長より「現状でも把握可能であり、6月36件、7月45件、8月54件、9月4日時点4件」との報告あり。詳細については後日長野副本部長に要確認。
- iii) 「技術士会」の活動を広く公開・認知してもらう為の手段として、各関係機関等へのポスター掲示が有効ではないかとの意見が出され、以下について実施する事を確認した。
 - a) 当面の活動としてHP（「資料②-3」等）のPR不足を補う為、支援の要請があるであろう窓口（機関等）を第2・4G共同で抽出し、本委員会委員へ追加項目等について諮る。
 - b) 併せて、掲示するポスター案等を第2・4G共同で作成し、第3回定例会議迄に本委員会に諮る。

(*) 「iii)」実現迄の筋道・課題等（意見が集約されていないので、個人的解釈・見解として）

- a) 上記iii)を基に第2Gで「具体的実施計画(書)」を作成し、委員会の決議事項としての承諾を得る。
- b) 地域産業支援委員会の「提案事項」として「起案書」を作成し、九州本部長の了解を得る。
- c) 関連窓口（機関等）へ出向き、主旨説明とポスター掲示の依頼。

3) 第3グループ【文責：古賀】

- (1) 平成28年度特許取得活用支援事業 知財総合支援窓口（パテントエトランス福岡）第1回関係機関連絡会議（平成28年7月14日）
 - ・場所は福岡県中小企業振興センタービルで、参加者は委員4名、オブザーバー11名、実施機関11名）
 - ・会議にオブザーバーとして参加した末松委員長より下記の報告が行われた。
 - ・本事業では、知財の「支援窓口」の開設、及び中小企業を訪問し課題発掘支援を行うが、必要に応じて知財の専門家を派遣し、教育指導を行う。
 - ・平成27年度実績を課題等受付件数、窓口担当者支援件数、専門家窓口件数で示されたが、課題等受付件数は2514件にも及んでいる。
 - ・平成28年度事業体制としては、主管がINPIT単独となる。また、福岡への知財アドバイザーの人員は、6名から2名になる。
- (2) 第4回九州知財交流会（平成28年7月26日）
 - ・場所は福岡合同庁舎本館（九産交流プラザ）で、参加者は20名
 - ・技術士会からは西尾委員、味澤委員が参加し、味澤委員から下記の報告が行われた。
 - ・交流会は以下の2つの講演が行われた。
 - ① 「中小企業の成長ステージ毎で窓口ができる支援内容及び支援事例の紹介」
石黒一夫氏：三菱UFJリサーチ&コンサルティング
 - ・本事業は（独法）工業所有権情報・研修館（INPIT）から受託したもの
 - ・具体的支援事例の報告等があった。
 - ② 「平成28年度知的財産支援情報ガイドブック、九州版」
竹丸 巖氏：（独法）工業所有権情報・研修館・・・技術士（水産部門）
 - ・竹丸氏が係った特許出願の件で「用途発明」の可能性のあるものがあった。
 - ・専門家としての「技術士」活用の有用性・有効性をPRされた。交流会後に懇親会が行われた。

4) 第4グループ【文責：赤石、味澤】

- (1) 「産総研九州・沖縄産業技術オープンデー」出展の件：
 - ① 末松委員長を責任者として「参加企画提案書」を提出し、参加の意向表明（7月31日付）。
 - ② H28年12月7日（水）、電気ビル共創館で開催。
 - ③ 当日は5～6名程度の相談対応者が必要で、その人選は委員長一任とする。
 - ④ 技術士が他資格と混合される傾向にあるため、技術士法などで規定されている国家資格であることを展示パネルに明確にする必要がある。只、その表示方法については「国家資格技術士」又は「*1」等での表示等々があり、又、今回の出展に限った事ではないので、本件懸案事項としたい。

5) 第5グループ【文責：末松】

(1) 統括本部の機械部会主催のWeb 中継受講を継続。

・ 7/8 (金) 参加者 3 名。演題は 2 つ。

① 「ニュートン・工作機械の設計法」 渡部厚夫氏 (渡部技術士事務所)

② 「” 回転機械の不思議” 回転機械の釣り合わせを複素数で解く。振動と数学の面白い関係」
近藤孝邦氏 (IHI 回転機械)

・ 8/19 (金) 参加者 3 名。演題は 1 つ

「知っておきたい歯車の技術」 渋谷高広氏 (渋谷技術士事務所)

(2) 技術指導例を田口委員から発表してもらった。

・ 20 名ほどの社員からなるある企業において、顧客の設計図に基づいて製品を納入するビジネスモデルから、顧客仕様に基づいて自社内で設計し、その設計図に基づいて製造して製品を納入するビジネスモデルに変身するためにどう取り組んだらよいかを指導。

・ 社員の力量が不足していることから何もかもやれないので、「選択と集中」での指導を考えた。具体的には「納入仕様書」の作成方法を OJT で行うこととした。期間は約 1 年。

6. 2 今期開催される産総研主催九州・沖縄産業技術オープンデー出展に関して(H28. 12. 7 開催) :

(1) 当日展示、技術相談対応可能者は後日募集する。5～6 名の予定。

(2) 技術士だより九州への搭載執筆者の決定 :

2017. 1. 15 号の“技術士だより・九州”には、2016/12/7 に開催される「九州・沖縄産業技術オープンデー」の記事を予定とする。執筆者は、オープンデー当日に技術相談対応者のうち、前年度執筆者である古賀委員以外からから選定する。

6. 3 次回の技術指導例紹介の発表者の選定

技術指導事例紹介は久富委員が行うことで了解が得られた。

6. 4 その他 :

・ 次回例会開催日時 : 2016 年 12 月 3 日 (土) 10:00-12:00 (九州本部会議室にて)

・ 新委員 (田口委員、久富委員、松永委員) には、5 つのグループのうち、どのグループに参画を希望されるかについて、次回に確認させていただくことにした。

以上